

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	遠軽北見道路（一般国道333号） 生田原道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道紋別郡遠軽町生田原水穂 至：北海道紋別郡遠軽町生田原旭野				延長	5.7 km
事業概要	<p>遠軽北見道路は、北海道横断自動車道網走線と旭川・紋別自動車道を連絡する高規格道路である。 生田原道路は、高規格道路ネットワークの拡充による、オホーツク圏と道央圏との連携強化を図り、地域間交流の活性化、物流効率化等の支援を目的とした5.7 kmの事業である。</p>					
H19年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)		H20年度用地補償着手		H21年度工事着手	
全体事業費	約167億円		事業進捗率	約61%	供用済延長	0.0 km
			(令和3年3月末時点)			
計画交通量	7,700台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 2.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 81/173億円 (事業費：64/157億円 維持管理費：17/17億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 223/223億円 (走行時間短縮便益：189/189億円 走行経費減少便益：26/26億円 交通事故減少便益：7.4/7.4億円)	基準年： 令和3年		
感度分析の結果	事業全体及び残事業について感度分析を実施					
	【事業全体】交通量：B/C=1.1~1.5（交通量±10%） 事業費：B/C=1.2~1.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.2~1.3（事業期間±20%）		【残事業】交通量：B/C=2.4~3.2（交通量±10%） 事業費：B/C=2.6~3.0（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.7~2.8（事業期間±20%）			
事業の効果等	事業の必要性及び効果					
	<p>① 主要都市間の連絡性向上 ・北海道6圏域中心都市である北見市は、道央圏と高規格道路で接続されていない状況であり、主要都市間の更なる連絡性向上や地域間交流の活性化の観点から、当該道路の整備が期待される。</p> <p>② 水産品物流ルートของ安全性向上 ・オホーツク圏の全魚種漁獲量は全道1位であるが、並行する現道区間は、市街地、急カーブ、急勾配が存在しており、走行性及び安全性に課題があるため、広域交通と生活交通の機能分担による、物流ルートの安全性向上が期待される。</p> <p>③ 救急搬送の安定性向上 ・遠紋地域からの搬送ルートである並行現道は、市街地、急カーブ、急勾配が存在しており、安定走行による患者負担軽減の観点から、当該道路の整備が期待される。</p> <p>④ 日常生活の利便性向上 ・遠紋地域の日常生活は、北見市に依存している状況であるが、経路となる並行現道は、走行性及び安全性に課題があり、地域住民の生活利便性向上の観点から、当該道路の整備が期待される。</p> <p>⑤ 周遊観光の活性化 ・オホーツク圏は、遠紋地域を周遊する花観光、流水関連の冬期観光、国立・国定公園など、観光資源が豊富な地域であり、遠紋地域と網走・知床を連絡する観光ルートとして、当該道路の整備が期待される。</p>					
関係する地方公共団体等の意見						
地域から頂いた主な意見等：	北見市を始めとする1市2町の首長等で構成される「遠軽北見道路整備促進期成会」等から、早期整備の要望を受けている。					

知事の意見：

「遠軽北見道路 生田原道路」事業を「継続」とした「対応方針（原案）」案について、異議はありません。当該事業は、広域ネットワークの拡充による地域間交流の活性化や物流効率化の支援が図られるなど、経済・社会活動の活性化や道民の安全・安心なくらしの確保に寄与することから、早期供用を図るようお願いいたします。

なお、事業の実施にあたっては、環境への影響を最小限にとどめるとともに、より一層、徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成21年 3月 国道333号 新佐呂間トンネル開通
- ・平成21年10月 市町村合併により、上湧別町及び旧湧別町が「湧別町」になる
- ・平成21年12月 旭川・紋別自動車道 白滝IC～旧白滝開通
- ・平成22年 3月 旭川・紋別自動車道 上川天幕～浮島IC開通
- ・平成25年 3月 北海道横断自動車道網走線 北見西IC～北見東IC開通
- ・平成25年 6月 シーニックバイウェイ北海道「層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ」候補ルート登録
- ・平成27年 6月 広域観光周遊ルート「アジアの宝悠久の自然美への道ひがし北・海・道」に認定
- ・平成27年11月 北海道横断自動車道網走線 訓子府IC～北見西IC開通
- ・平成29年 3月 旭川・紋別自動車道 丸瀬布IC～遠軽瀬戸瀬IC開通
- ・平成29年10月 北海道横断自動車道網走線 陸別小利別～訓子府IC開通
- ・平成31年 4月 北海道横断自動車道網走線 端野高野道路事業化
- ・令和 1年12月 旭川・紋別自動車道 遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC開通
- ・令和 2年 1月 北海道7空港民間運営開始
- ・令和 3年 4月 旭川・紋別自動車道 遠軽上湧別道路事業化

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度に工事着手して、用地進捗率約55%、事業進捗率約61%となっている。
(令和3年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

土工計画、立入防止柵の見直し等による変更。
引き続き、早期開通に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

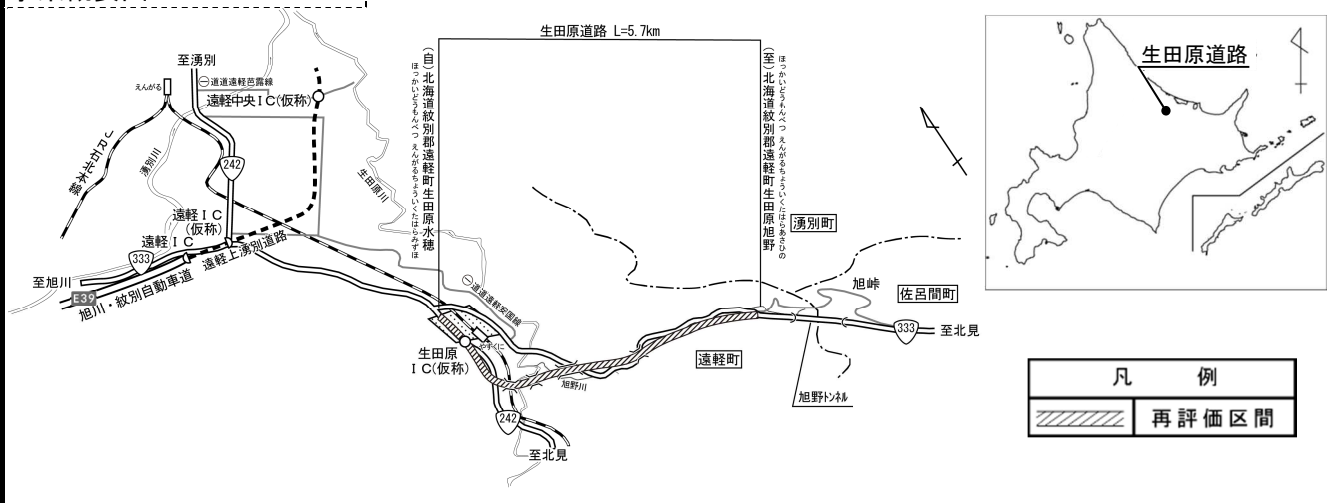
土工計画、立入防止柵の見直し等による変更。
引き続きコスト縮減に取り組んでいく。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。